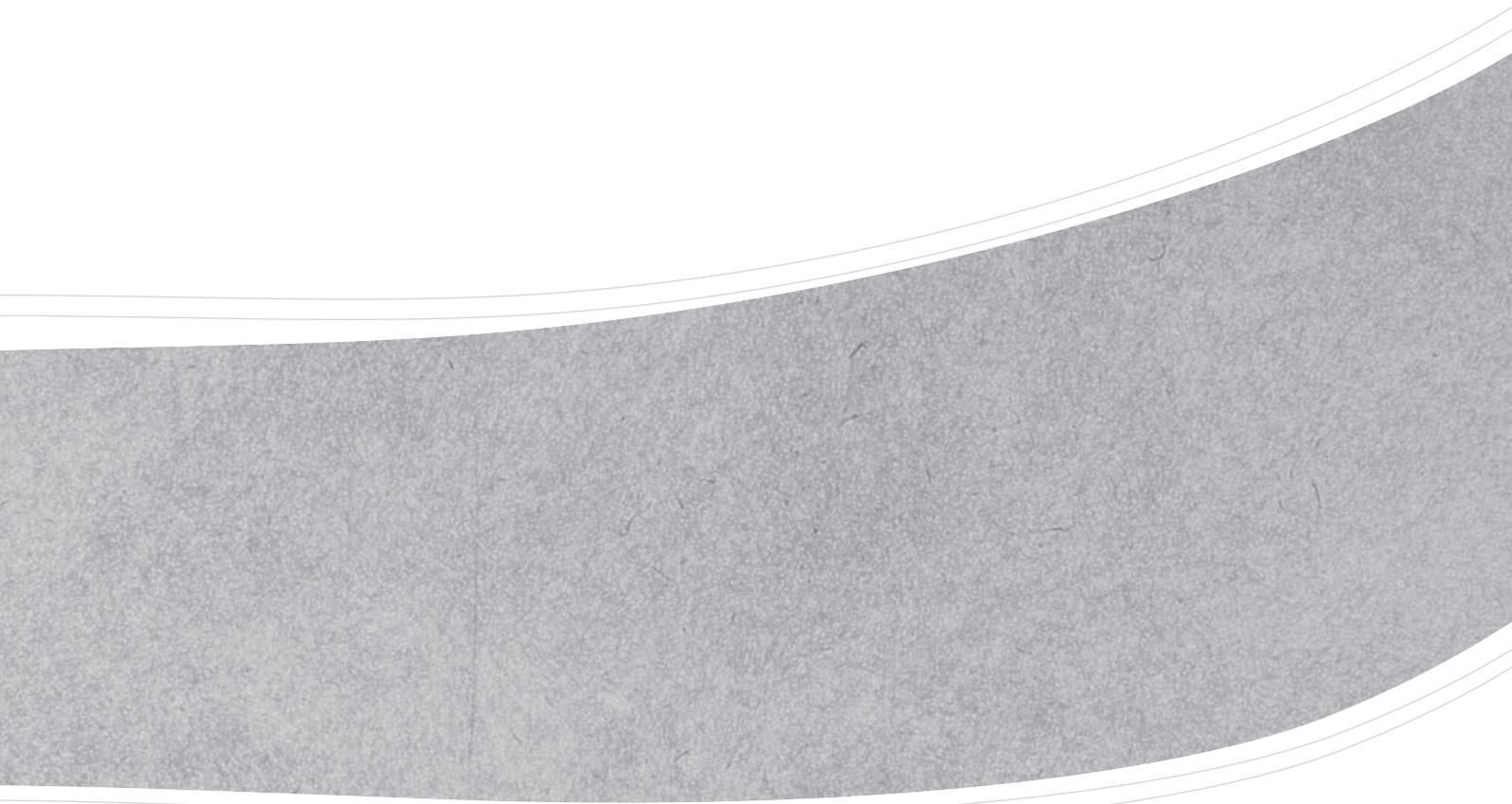


堺市 水道百年史



堺市 水道百年史



堺市水道給水開始100周年を迎えて

堺市長 竹山 修身



堺市の水道事業は、明治43年4月、全国で18番目の近代水道として給水を開始し、以来1世紀にわたり事業の歩みを進め、平成22年4月に給水開始100周年を迎えました。

給水開始当初の給水人口は約1万4千人、給水戸数は約3,500戸でした。その後、数々の近隣町村との合併をはじめ、市の発展に伴う人口増加や企業活動の伸展にあわせた施設の拡張と整備を行い、現在では給水人口約85万人、給水戸数約38万戸に達し、全国でも有数規模の水道事業に発展を遂げました。

一方、市政におきましても、平成18年4月には、全国15番目となる「政令指定都市」へ移行を果たしました。以後、これまでに、「グリーンフロント堺」の建設や全国13自治体からなる「環境モデル都市」の選定、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録に向けた取り組みなど、全国でも元気で活気のある都市として注目していただいているところです。

堺市水道事業は、市政の一翼を担い、市民生活に欠くことのできない重要な都市基盤であります。水道事業の本来の使命である安全で良質な水を安定的に提供できる高水準の水道を目指すことはもとより、地球温暖化対策など、環境への社会的責任を果たしてまいりたいと考えております。

一方、大阪府全体に目を向けますと、大阪府の用水供給事業を府内市町村で行う「大阪広域水道企業団」を平成23年4月に設立するための準備を進めています。この企業団の設立によって、42市町村間の連携強化が期待されます。

このたび、堺市水道事業創設から明治・大正・昭和・平成にわたる歴史を市民の皆さまとともに振り返り、先人たちの知恵と努力を再認識するとともに、未来に向かって新たな一歩を踏み出すための節目とすべく、100年の集大成として『堺市水道百年史』を刊行するものです。

最後になりますが、水道第2世紀に向けて、市民の皆さまとともに歩むため、たゆまぬ努力を続ける所存でございます。

これからも堺市水道事業のさらなる発展に向けて、皆さまのご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月

発刊にあたって

明治43年4月1日、堺市の水道は我が国で18番目の近代水道として給水を開始しました。明治33年に水道布設の調査を開始してから、通水まで10年の歳月を要しました。この間、水道建設については、時期尚早論に代表される慎重論、大和川沿岸住民の反対などもありましたが、明治40年の市会において激論を経て可決されました。これを受けて、明治41年8月に工事に着手し、明治43年1月12日に完成をみました。以来、一日も途切れることなく市民の皆さまに水道水を送り続け、このたび100周年を迎えることができました。

堺市水道は、近隣市町村との合併、市勢の発展、市民生活の向上に伴う水需要の増大に対応して、15次にのぼる拡張事業を実施し、市民生活に欠くことのできないライフラインとして市民の皆さまの信頼に応えられるまでに成長してまいりました。

この間は水源確保との戦いでもありました。創設時は大和川を唯一の水源としていましたが、流量の減少、水質の悪化によって、昭和53年に大和川取水を停止するに至り、現在では淀川を水源とする大阪府営水道からの全量受水によっています。

明治・大正・昭和までは水需要が増加の一途をたどっていましたが、平成4年度をピークに毎年、減少を続けています。水需要の減少に合わせて、建設から維持に舵を切り、事業の効率化、お客さまサービスの向上、基幹施設の耐震化等に経営方針をシフトさせています。

配水管の布設は昭和47年度に100kmを超えるピークを記録し、これらの大量に布設した管が更新時期を迎えようとしています。また、南海・東南海地震に備えた震災対策、団



塊世代が退職するなかでの技術継承、地球温暖化等に対する環境対策など重要な課題が山積しています。

今後は、経営の効率化、健全化に鋭意取り組み、市民の皆さまの期待に応えられる水道を目指して邁進する所存でございます。

この『堺市水道百年史』は、時代の変遷に応えようと奮闘し、今日の高品質な水道施設を構築された諸先輩方の歴史と労苦の記録であり、将来多くの課題に直面することになる後輩たちの知恵と勇気の源になればと願っております。

また、本史誌は時代の変遷と水道人の取り組みを中心に、トピックス・エピソード・写真・イラスト等を交え、水道人以外の方にも興味を持って読んでいただけるように配慮いたしました。

最後に、先人たちの努力によって築きあげられた堺市水道の輝かしい歴史と伝統を継承するとともに、水道第2世紀目に歩みだす重責を深く心に刻み、さらなる市民サービス向上に取り組む決意を新たにします。

平成23年3月

堺市上下水道事業管理者

澤野 哲也

本 編

目次

第1編	水道事業の現状	1
	—経営と施設と事業—	
第2編	水道の創設	57
	—創設の背景と創設事業—	
第3編	通史	73
	—時代とともに歩んだ水道—	
第4編	部門史	113
	—事業と業務と組織と人—	
第5編	今後の水道	171
	—堺市水道の進むべき方向—	
資料編	199
	—年表と裏付資料—	
用語解説	235

目次

巻頭ページ

市長挨拶	2
管理者挨拶	3
堺市水道百年史写真帖	4
第1編 水道事業の現状 —経営と施設と事業—	1
第1章 水道事業の経営	2
第2章 堺市の水源	6
第3章 主要な整備事業	11
第4章 安全でおいしい水の安定供給	14
第5章 災害・危機管理対策	19
第6章 平成21年度水道事業会計決算	31
第7章 機構と職員数	37
第8章 水道事業を支える庁舎及びその他の施設	38
第9章 日本水道協会第78回総会 堺大会	48
第10章 100周年記念事業	50
第2編 水道の創設 —創設の背景と創設事業—	57
第1章 堺市のあゆみ	58
第2章 近代水道の創設	64
第3章 堺市の水道の創設	67
第3編 通史 —時代とともに歩んだ水道—	73
第1章 創設期の水道	74
第2章 昭和初期の水道	82
第3章 復興期の水道	87
第4章 高度成長期の水道	90
第5章 オイルショック後の水道	97
第6章 景気停滞期の水道	102

第4編 部門史 —事業と業務と組織と人—	113
第1章 水道の創設	114
第2章 拡張事業の変遷	115
第3章 整備事業の変遷	127
第4章 給水装置と維持管理	131
第5章 水道料金と加入金	135
第6章 経営改善（経営改革）	141
第7章 電子計算機の導入と図面管理	147
第8章 組織と人	154
第9章 その他	164
第5編 今後の水道 —堺市水道の進むべき方向—	171
第1章 中期経営計画	172
第2章 水道広域化	196
資料編 —年表と裏付資料—	199
1. 堺の水道年表	200
2. 歴代市長と水道主担者	215
3. 堺市水道唱歌	217
4. 取水量・給水量の変遷	218
5. 普及状況表	221
6. 旧泉ヶ丘町等の施設	225
7. 水道料金の変遷	228
8. 加入金の変遷	234
用語解説	235
編集後記	243

(DVD収録資料)

資料の内容	本誌関連ページ
新世紀第二次配水施設整備計画	第1編第3章 主要な整備計画
阪神・淡路大震災の記録	第1編第5章 災害・危機管理対策
水道創設前後の伝染病患者数及び死者数	第2編第3章 堺市の水道の創設
大和川渇水日数表	第3編第2章 昭和初期の水道
水源調査表	第3編第3章 復興期の水道
水道メーター取付数	第4編第9章 その他
堺市水道事業 中期経営計画	第5編第1章 中期経営計画
その他諸資料（詳細は別冊『送り続けて一世紀』巻末に記載）	